

<タイプ1>

- ・人によって図解の仕方が変わる。
- ・太宰治がここまで自殺願望の強い人だと思わなかった。もっと太宰を知りたいと思った。
- ・与謝野晶子を図解して、考え方が良く分かった。
- ・名前と偉業くらいしか知らない偉人達の背景や意外な一面が知れて面白い。
- ・寺山さんの教育は与えるものではなく、受け取るものである。人生いたるところに教育者がいる。言葉が心に残った。
- ・樋口一葉と与謝野晶子が同じ年に生まれたとは知らなかった。
- ・松本清張の作品はドラマや映画で数多く見たことがある。仕事量＝成功とは限らないが、思わぬ仕事後の世に多大な影響をもたらすこともあるのだなと改めて思った。
- ・樋口一葉を図解してみたが、彼女の生涯はものすごく、「奇蹟の十四ヶ月」に12冊の名作を出したのは、驚きと感心した。
- ・寺山修司の「悪口の中において、常に言われている方が主役であり、言っている方は脇役であるという宿命がある。」という言葉に納得した。
- ・先生がブログを書き続けていることは凄いと感心した。「継続」「努力」が最も大事であると再認識することが出来た。
- ・勉強ができなかった樋口一葉の思いを胸に受け止め勉学に謹んで欲しいと願う。「先生の人生」も偉人達のように紹介していただけたら嬉しいです。
- ・一葉日記を読んでみたいと思った。後ろの人がうるさすぎて非常に迷惑だったので、退場させるべき。

<タイプ3>

- ・太宰治のファンです。「継続は力なり」というのはどの人物にも当てはまり、自分も見習うべきだと感じた。
- ・野田先生に連れられて久恒先生も新しい大学の教授になってしまうのですか？
- ・パソコンで調べながら図解してみたので、少し詳しく調べられたと思う。もう少し図を書く時間が欲しかった。
- ・知的生産手帳を元にした講義は非常に良かった。
- ・怒濤の仕事量がすごいと感じた。
- ・太宰治が三鷹で代表作を作っていてびっくりした。
- ・図解表現は同じ物を2回書くと完璧に出来る気がする。
- ・太宰治は有名人すぎて何を書けば良いか迷った。

<タイプ2>

- ・古関裕而は地元出身なので、とりあげられて嬉しかった。図解が楽しくてしょうがないです。「勉強も量をこなせば質も上がる」という久恒先生の言葉に感銘を受けた。
- ・中山晋平について図解した。少ない情報量からどこまで書けるかが私の今後の課題です。
- ・偉人の多くは恵まれない境遇に生まれてくる人が多いと感じる。
- ・太宰治は学校の授業でよく知っていたが、よりよい太宰治を知れて良かった。
- ・松本清張を図解した。様々なジャンルで多くの作品を書いていることに驚きました。
- ・「古典」の授業みたいでとても興味深かった。
- ・樋口一葉は24歳という短い人生でしたが、たくさん有名作品を生み出しもの凄い人物だと思った。

<タイプ4>

- ・太宰治について書いた。短い生涯で140冊の小説を書いていることに驚いた。
- ・松本清張記念館の館長が「作家、松本清張らしく運営することにいたしました」という仕事の鬼の松本清張に習っている点が深いと思った。
- ・教育は受け止める物であるという言葉はとても心に響いた。
- ・与謝野晶子は11回も出産しつつ小説を書き続けるというのは並々ならぬエネルギーがある。

<タイプ6>

- ・太宰治を図解し、自殺未遂がこんなにも多いと知った。それだけ、生きていくことが辛かったのだと思う。
- ・とても充実した講義だった。
- ・寺山修司の歌は良く知っていたが、寺山修司が作詞しているとは知らなかった。
- ・様々な人との出会いが人を大きく成長させていると分かった。
- ・文学者のことを図解するのはおもしろい。
- ・太宰治を一言で表すと「桜」だと思う。理由としては、短い人生だったが一瞬に輝いて終わったからです。また、「作家にとって大切なのは、勉強すること、つまり本を読むことだ」という言葉に心に響いた。
- ・中山晋平を図解した。まさに怒濤の作曲家で驚いた。

<タイプ5>

- ・「一葉日記」に興味を持った。
- ・樋口一葉も太宰治も偉人だが若くして命を落としていた。もっと長く生きていたら時代は変わっていたのかなと思いました。
- ・樋口一葉と太宰治など歴史的な作家のお話は興味深かった。
- ・与謝野晶子について図解した。11人の子持ちと仕事。両立はとても大変だったと思いました。
- ・太宰治を詳しく理解できてよかった。
- ・5千円札となっている樋口一葉が、24歳という短い生涯だったのに驚いた。「才能は生まれつき備わっている物で、徳は努力して養う物です」という言葉があり、かっこいいなと思いました。
- ・寺山修司の映画作品を見てみたい。
- ・樋口一葉は、もっと長生きしていれば、もっとすごい作品が書かれたと思うと残念だ。
- ・太宰治をPCで詳しく調べて見ようと思った。授業が静かに受けられたので集中できた。
- ・松本清張の言葉「歳をとって、よく人間が枯れるなどといい、それが尊いように言われるが、。。。。」このような気持ちが自分には必要なんだなと思った。
- ・寺山修司の「どんな鳥も想像力より高く飛べない」という詩がかっこよすぎると感じた。

- ・寺山修司は、あるがままの心で生きられる強さを持っていて、かっこいいと思います。
- ・太宰治・寺山修司・与謝野晶子の作品に興味を湧かした。「成功している人は時間の使い方が上手い」と先生が言っていたので、私も時間の使い方に気をつけて行こうと思います。

<タイプ7>

- ・与謝野晶子に興味をもて、図解しやすかった。
- ・古閑裕而を図解した。情報がうまくまとめられず、初めて見る人には何が何だか分からないものになってしまった。
- ・時間の使い方が上手になりたいと思った。名を残すようなことを成し遂げているのは素晴らしいなと思いました。
- ・太宰治は、自我願望が強いことに驚いた。
- ・毎回注意される後ろの学生は、同じ学生だと思うので、そろそろ席を離すなど何かしらした方がよいと思います。
- ・寺山修司は学生時代にいじめにあったが、それが彼の人生に大きな転機を与えたのではないだろうか。
- ・太宰治の人間性に興味が出てきた。
- ・これをきっかけに太宰治の本を1冊読んでみようと思う。
- ・太宰治は知っていたけれど、39歳で死んでしまったのにはびっくりした。考えることがすごすぎるから、悩みがたえないのだと思った。
- ・太宰治は遊び人で若くして心中していたのは、想像と全く違ったので、ちょっと好きになった。

<タイプ8>

- ・仕事について考えさせられました。
- ・偉人は苦労がありそれを乗り越えている事が分かった。

<タイプ9>

- ・知的生産手帳を買って学びたいと思った。
- ・樋口一葉に興味を持った。勉強ができない時代に生まれてしまい、しかも24歳という若さで死んでしまうのは、悲しすぎるエピソードだった。
- ・小説家の話はとてもおもしろくて興味を持った。
- ・太宰治の図解をした。天才は早死にするのか、早死にするから天才なのか。たくさんの方が尊敬する人物は早死にしている人が多い。
- ・太宰治の言葉「作家にとって大切なのは勉強すること、つまり本を読むことだ」天才の人の裏には努力が必ずある、「天才は努力ができる人」と私は思った。
- ・太宰治が、なぜ何回も自殺をしようとしたのかが凄く気になった。
- ・樋口一葉を図解した。人との出会いというのは、人生に大きな影響を及ぼすのだと感じた。
- ・太宰治が、月に7~8の小説を書いていたと知り驚いた。
- ・樋口一葉の「死ぬと悲しかりしかど、学校は止めになりけり。」学校に行きたくても行けない一葉さんの悲しみが伝わった。
- ・与謝野晶子の「源氏をば一人となりて後に書く紫女若くわれは然らず」がとても響いた。
- ・樋口一葉は24年という短い人生だったが、尊敬できる人だと思った。
- ・与謝野晶子がたくさんのお産を経験しているとは知らなかった。
- ・太宰治が三鷹に住んでいたことを知らなかった。家から近いのでびっくりした。
- ・松本清張が、宮本みゆきとも関係があったのは驚きました。

- ・樋口一葉はすぐれた才能があったにもかかわらず、貧しさのために通えなかったのはかわいそうだった。
- ・樋口一葉の話に興味関心を持った。本人が勉強することを望んでいたのが余計にかわいそうだと感じた。
- ・太宰治について図を書いて、驚く事実がいっぱいあった。
- ・偉人達に様々な過去があって、もっと「あの有名人とこんな波瀾万丈が、、、」というのを知りたいと思った。
- ・太宰治記念館に行ったことがあります。
- ・休むと感覚を忘れてしまうのでしっかり授業に出たいと思う。

<タイプ???>

- ・他の人の図解を見て、自分のとは違いました。
- ・与謝野晶子が、24歳~41歳まで常に妊娠状態で大変な生活を送っていたことにとっても驚かされた。
- ・樋口一葉が学校を止めさせられてしまったと聞いて、現代ではこんな考えはないので自分たちは幸せだと思った。
- ・太宰治の人生は非常に濃く感じた。自殺願望を持つ原因となったのは何か知りたくなった。
- ・与謝野晶子について書いてみてエネルギーに溢れている人だと思った。
- ・「論文は図解しやすいが、人物は図解しにくい」のは確かにそうだなと思いました。与謝野晶子を図解した。人柄や生い立ち、出来事全てを知ることができて楽しいです。
- ・知的生産手帳がすごく欲しいです。先生が最も影響を受けた、人物の言葉って何ですか？
- ・太宰治が4度も自殺未遂をしていて、自殺願望がすごくある人だったとは知らなかった。
- ・先生がおっしゃっていたそれぞれの言葉はとても印象に残りました。
- ・偉人とは多くのことを成し遂げている。
- ・樋口一葉がこんなに壮絶な人生を歩んでいたとは全く知らなかったの、とても驚きました。
- ・樋口一葉の話聞いて、とても厳しい生活だったのだと思った。
- ・寺山修司を図解した。表現者として広い分野に手を出し、その都度一流の仕事を残していた。彼を突き動かしていたものは、いったい何だったのか。
- ・与謝野晶子が私と同じ誕生日だったことを知って、とても嬉しく思いました。
- ・寺山修司を図解した。偉人は周囲の人達には理解できない部分があるが、その才能が後生、理解できなかった人に最も理解されて記念館の設立に至った事実はとても素晴らしい。
- ・寺山修司は沢山の言葉を残しているが、なぜこんなにも表現力が豊かなのかと思った。毎回配られるプリントは暇な時に読み返すととても面白い。関心を持った言葉「男は生涯に一回だけ勝負すればいいのだ」
- ・古閑裕而が1年で100曲作っているの聞いて、才能だけではあのような曲は書けないのだと思った。
- ・小関裕而の図解をした。東京オリンピックの歌など名曲を出しているのがすごかったです。